

令和4年度 ふじみ野市立西原小学校 学校経営方針

1 はじめに

本校2年目を迎えました。校長9年間ですが新たな1年と位置付けています。改めてマンネリや慣れを戒め、新たな1年とする事を心に誓っています。

昨年度は、皆さん一人ひとりが生き生きと勤務し、人を大切にし、心を大切にした教育活動を意図的・計画的・組織的に行える学校づくりを進めてきました。まずは校舎内外の環境整備に着手し、保護者や地域の皆様に目に見える形での学校の変化をお示ししました。そして学校と地域とのつながりを密にする事で校舎内外の環境整備を含めた西原小学校の教育力を高めようと試みました。その結果、体育館の改修工事を含めて学校を取り巻く環境が改善され、保護者や地域の皆様のご支援・ご協力も増したと捉えています。

しかし世の中は刻々と変化しています。コロナウイルスは学校教育や人々の心を傷つけています。だからこそ学校は確固たる信念と状況に合わせた柔軟な発想をする学校経営が求められています。様々な意見や考えや評価に真摯に耳を傾け、課題の本質を見極めた上で冷静かつ的確に判断できる校長や教職員でなければなりません。

学校は子どもたちのためにあります。学校は教職員の生きがいや幸せの場であればいけません。最高責任者である校長は子どもたちを心から愛し、教職員をどこまでも信頼し、優しさと厳しさをミックスした視点から全ての教職員の持つ素晴らしい資質や能力を最大限発揮できる場を設けることが自らの責務であると思っています。全ての教職員が気持ちよくそして自分らしく生徒や保護者や地域に愛情を注いでくれる学校づくりが校長に課せられた使命の一つだと考えます。そのために今年度も全力で取り組んでまいります。

本校の職員はとてもバランス感覚に優れ、どんな大変な中でも助け合う精神が根付いています。職員室からは笑顔や明るい笑いが溢れ、声高に人を批判したり攻撃したりする空気はありません。その雰囲気は子どもたちへの指導にも大きな影響を与えています。私は本校の教職員の皆さんは市内でもトップクラスの人間力を持っていると思っています。そんな教職員に日々指導される本校の子どもたちはとても幸せだと思います。

世の中は生き方に軸がなく、知識や情報や他人の言動に戸惑い迷う人が多いです。その結果、責任や悪意を他者に押し付けて自分を守ろうとします。そんな世の中を生き抜くには、教職員同士や児童・保護者・地域の皆さんとの間で温かな信頼関係の輪がたくさん生まれ、誰もが良さを出し合いながら、縁あって出会ったすべての皆さんの力を結集して働き甲斐のある西原小学校になる必要があります。そんな学校づくりに共に心を合わせて歩んでいきましょう。

2 学校教育目標

かしこく（知）なかよく（徳）げんきよく（体）

3 学校経営方針

（1）校長の姿勢

バスケット女子日本リーグ荏原製作所の元ヘッドコーチ丸山健治さんの言葉を再び引用しました。常に初心を忘れずに自分を戒め、誠意や信念や自戒を貫く姿勢をお誓い致します。

- ①三流の校長はやる気のない職員をみるとイライラする。
一流の校長はやる気のない職員をみるとワクワクする。
- ②三流の校長は仕事が終わって疲れているときに疲れた顔をする。
一流の校長は仕事が終わって疲れているときに周りを元気にさせる。
- ③三流の校長は職員のないところで職員の能力が低いと悪口を言う。
一流の校長は職員のないところで職員のことを熱く語る。
- ④三流の校長は職場や職場の環境に愚痴を言う。
一流の校長は職場や職場の環境に感謝する。納得がいかないことがあれば、すべては自分次第と考え、環境を変革する。
- ⑤三流の校長は職員たちの夢を知らない。
一流の校長はすべての職員の夢を知り、職員の成長を本気で考え、夢を応援する。
- ⑥三流の校長は常にイライラして、職場の雰囲気悪くする。
一流の校長は常にワクワクして、職場のみんなをワクワクさせている。
頑張れば結果をつくることを知っている。
- ⑦三流の校長は職員に求めてばかりいる。
一流の校長は求めるのではなく与えている。魅力とは求めれば消え、与えれば生まれる。
- ⑧三流の校長は変化へのスピードが遅い。
一流の校長は変化のスピードが速い。情熱とはスピード。リーダーとは決断をして変化を起こす人。
- ⑨三流の校長はピンチに落ち込む。
一流の校長はピンチをチャンスに変える。問題が起きたことが問題ではない。問題をどう考えるかが問題だ。

(2) 本校の使命

子どもの命を守り、子ども・保護者・地域を幸せにできる地域とともに歩む西原小学校

(3) 目指す学校像

時を守り・場を清め・礼を尽くす温かな西原小学校

- | | |
|----------|------------------------|
| ①誠実な学校 | ・・・迅速な対応、一生懸命、人を大切 |
| ②笑顔のある学校 | ・・・子どもが主役、安心安全、豊かな人間関係 |
| ③調和のある学校 | ・・・学校と地域、組織と個人、学年と学級 |

(4) 目指す児童像

- ①西原小学校が大好きという思いを持つ児童
- ②あいさつが自然と言葉と態度でできる児童
- ③自分がされて嬉しいことを他にもできる児童
- ④目標に向かってがんばる児童

(5) 目指す教職員像

誠意 (sincerity) ・スピード (speed) ・笑顔 (smile)

- ①西原小学校の児童に愛情をもって教育活動に専念する教職員
- ②保護者や地域、業者や他校の教職員等に礼節を重んじる教職員
- ③自分がされて嬉しいことを人にもできる教職員
- ④仲間と協力して目標に向かって努力する教職員

(6) 目指す保護者像

- ①子どもが安心する温かな家庭生活の実現に力を尽くし、子どもの話に耳を傾けられる保護者
- ②規則正しい家庭生活や家庭学習を学校と協力して支援できる保護者

(7) 学校経営方針

急激な社会の変化に自ら進んで対応し、心豊かでたくましい人間を育成するために、本校を取り巻く様々な特性や生徒・保護者の実態を考慮しながら、全教職員の総意と知恵を結集して学校教育目標の具現化を図る。

子どもや教職員の心に情熱・意欲の炎を灯す学校経営

- ① 全教職員の総意（創意）を結集して、保護者や地域から信頼される学校づくりの推進
※信頼は小さな事でも丁寧かつ迅速に対応する中から生まれる。
- ② 子どもたちの思いや願いを知り、互いに助け合いながら、常に自分の夢や希望に挑戦する教職員の育成
※夢や希望を語る教職員には人を惹きつけるオーラがある。
- ③ 保護者や地域との絆を深め、その教育力を活用しながら、保護者や地域とともに歩む教育の推進
※保護者や地域からの信頼なくしては教育は成り立たない。
- ④ 授業・学級経営がそれぞれ密接に連携しながら、子どもたちの笑顔が溢れる知・徳・体のバランスの取れた教育の推進
※子どもが活きる場を組織的に提供してこそ学校が学校たる所以である。

4 本年度の重点・努力点

言葉と行動であいさつができる西原小の子どもづくり ～ 児童・保護者・地域にあいさつの手本となる姿を示す ～

- (1) **授業の充実**・・・「ICTを活用した授業の創造」
 - 子どもがわかった・できた・嬉しいと感じられる授業を行う。
 - 授業規律・望ましい学習態度の伴った授業を行う。
 - 話し合い活動の機会を可能な範囲で増やす。
 - タブレットを活用した授業を積極的に行う。
 - 校内研究課題とリンクした授業改善を行う。

<取組指標>

- ☆ゲーム・スマホの時間を見直し、家庭学習の習慣化を定着させる。
- ☆昨年度の学力調査結果の課題を解消する指導を実施する。

- (2) **学級・学年経営の充実**・・・「綺麗な学級・学年に荒れた学級はない」
- いじめを許さない・見逃さない学級・学年づくりを推進する。
 - 子どもの心に響く掲示教育を推進する。
 - 学級の様子を学級・学年通信等で保護者に積極的に発信する。
 - 朝や放課後での教室の見届けと綺麗な学級環境を推進する。

<取組指標>

- ☆すべての担任が毎日放課後、学級を見回り、学級の実態を掴む。
- ☆児童の心に寄り添い、いじめや不登校児童をつくらない。
- ☆掲示教育の充実を図る。不要になった掲示物は迅速に交換する。

- (3) **職員室環境の充実**・・・「誰もが働きやすい職場環境づくり」
- 管理職と教職員とが迅速かつ適時に的確な情報・指示の伝達を行う。
 - 机上の整理整頓を行い、子どものお手本となる職員室を創る。
 - 来客・電話への誠意ある応対や職員室・印刷室等の整理整頓に努める。

<取組指標>

- ☆来客者（保護者・業者・他校の教職員等）への温かな心配りをする。
- ☆電話対応は自分がされて嬉しい対応を相手にする。

- (4) **安心安全の充実**・・・「安心安全に対する緊張感を持続・保持」
- 安全点検や見回り活動のマンネリ化の防止と具体的な改善策を示す。
 - 避難訓練や交通安全に関する取組を充実する。
 - 危機管理防止マニュアルを全教職員が常に見える工夫を凝らす。
 - ☆教職員事故をゼロにする。
 - ☆児童の実態を把握し日常の見回りや点検活動を決して疎かにしない。

- (5) **コロナウイルス感染防止の徹底**・・・「やるべき事を疎かにしない覚悟」
- マスクの着用と換気と可能な限りの3密を防止する。
 - 健康観察の徹底と迅速な情報の共有と一元化を行う。
 - 定期的な防止対策の評価を行う。
 - ☆子ども・保護者への啓発を通してクラスター感染を発生させない。
 - ☆陽性者や濃厚接触者の正確な把握とその後の適切な対応を取る。

5 終わりに

2年目の西原小学校経営方針と校長像を示しました。大切なことは昨年の自分や子どもや学校全体の成果と課題を把握し、その解決に学校全体で取り組む事だと思えます。そのために私は今年も動きます。

